

令和元年度 第3回 「宇都宮市子ども・子育て会議」 議事録

1. 日 時 令和元年10月21日（月） 午後3時00分～

2. 場 所 宇都宮市役所 14階 14大会議室

3. 議事

- (1) 「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」の改定について
- (2) 「宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」の改定について

4. その他

- ・ 台風19号に係る被害状況について

5. 出席者（委員：20名，事務局：24名，計：44名）

【委 員】青木章彦会長，関口浩副会長，堀口文子委員，青木克介委員，
仙波和夫委員，栗田幹晴委員，釘持幸子委員，福田清美委員，
君島健一委員，大金和人委員，稲川康代委員，今井恭男委員，
澤畑正委員，田代哲郎委員，菊池芳弘委員，倉益章委員，
坂本登委員，今井政範委員，浅木一希委員，野城一宏委員，

【事 務 局】〔子ども部〕埴部長，梓澤次長

〔子ども未来課〕坂井課長，亀澤課長補佐，綱川所長，川嶋係長，
片岡係長，高木総括，瀧澤総括，菊地総括，大塚主事

〔子ども家庭課〕田邊課長，谷黒室長，枝課長補佐

〔保育課〕吉澤課長，大久保課長補佐，中里副主幹，横山係長，大嶋係長，
坂入係長，熊谷総括，島崎主任主事

〔子ども発達センター〕鈴木所長

〔生涯学習課〕増淵課長

6. 公開・非公開の別 公開

7. 傍聴者数 0名

発言者	内 容
事務局	<p>1 開会 会議の公開について決定</p> <p>2 議事 (1)「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」の改定について (事務局説明)</p>
会長	質問・意見等はあるか。
委員	「SDGs」は何の略称か。
事務局	SDGsについては、日本語では「持続可能な開発目標」と訳されるものであり、「持続可能」を意味する『Sustainable』の「S」,「開発」を意味する『Development』の「D」,「目標」意味する『Goals』の「Gs」をつなげて読むことで、一般的に「エスディージーズ」と呼ばれている世界の共通目標である。
委員	「宇都宮市で子育てをしていきたいと思う親の割合」は、どのように算出するのか。調査対象は宇都宮在住の人だけなるか。
事務局	産後の各家庭に保健士が訪問する際に、国の調査項目に基づいてアンケートを取っており、調査項目は全国ではほぼ共通であるが、宇都宮市が実施するアンケートの調査対象は宇都宮市在住の方のみとなる。公表している自治体であれば、他の自治体と比較することも可能である。
会長	他に、質問・意見等はないか。 (質問・意見等なし)
事務局	(2)「宇都宮市子ども・子育て支援事業計画」の改定について (事務局説明)
会長	質問・意見等はあるか。

委員	「利用定員の弾力化」について、説明の中で国の「減算」という言葉が出てきたが、すでに国から何らかの通知が来ているのか。
事務局	国から通知があり、年間の平均弾力化率が120%を超える状況が5年連続で続くと減算の対象となる可能性があり、最短で令和2年度から適用になるとのことである。 ただし、来年度以降延長されるのか厳格に適用されるのかについては、まだ通知がなく不透明な状況である。
委員	幼稚園の認定こども園移行と新園の整備について、現状として幼稚園連合会の幼稚園が半数以上認定こども園に移行しているが、現場では教諭が足りないという状況である。今後、施設整備や増築等により子どもを受け入れられる量が増加することは良い傾向であると認識しているが、教諭不足や質の高い教諭の確保などについてどのように捉えているのか。
事務局	保育士等の不足への対応については、今後、計画にも記載していく予定であるが、保育士保育所支援センターと連携をしながら、各種貸し付け制度の活用を促したり、人材バンク等の活用を検討している。特に年度末における保育士等の不足が顕著であることから、あらゆる手段を講じて人材確保に努めていく。
委員	保育園では休日保育を実施しているとのことであるが、子どもの家では休日保育の実施を検討しているのか。
事務局	現段階では、実施に向けた検討は行っていない。
委員	今後、計画を取りまとめていくにあたって、計画の周知方法は工夫が必要である。学校関係の教育委員会や地域にある民生委員児童委員協議会に対しても周知し、地域全体で計画を推進していくことが重要である。
事務局	「宮っこ 子育て・子育て応援プラン」、「子ども・子育て支援事業計画」ともに、素案を取りまとめた上で、パブリックコメントを実施し、市民のみなさまに広く意見をいただく機会を設けている。このパブリックコメントは、広報紙や市のホームページでの周知を行いながら、各地区市民センター等にも原本を置き、どなたでも自由にご覧になっていたいただける環境を整えた上で、期間を設け、みなさまのご意見をい

委員	<p>ただくものである。事務局としても可能な限り広く周知を行い、より多くみなさまからご意見をいただけるよう進めていく。</p> <p>ファミリーサポート事業について、会員登録をしてマッチングができて初めて利用につながる仕組みであることから、会員を増やすだけでサービスの供給体制が整備されているとは言い難いのではないかと。</p>
事務局	<p>ファミリーサポートセンター事業については、協力会員ができることをできる範囲で助け合うという「共助」の考え方に基づいて実施している。ご指摘の通り、会員数が増加してもマッチングが成功しなければ支援にはつながらないため、表現を検討させていただきたい。</p>
会長	<p>他に、意見・質問等はないか。</p> <p>(意見・質問なし)</p> <p>3 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台風19号に係る被害状況について (事務局説明)
委員	<p>大きな被害を受けた保育園について、子どもたちの受け入れ先を探しているとのことであるが、状況はどうか。</p>
事務局	<p>2、3号認定の子どもについては、受け入れ先が見つかり保育を実施できている。1号認定の子どもについては、受け入れ先は調整中であり、現在は自宅待機をしている状態である。</p>
委員	<p>調整方法について、市から幼稚園連合会を含め近隣の幼稚園等に問い合わせをしているのか。</p>
事務局	<p>受け入れ先の検討については、被害のあった園側の関係者と市が調整しており、大学や民間施設、公共施設等で場所を提供できる施設を検討しており、現在、10月28日から代替施設での保育を再開できる見通しとなっている。</p>
委員	<p>被害のあった保育園について、現在は衛生上の観点等から使用できないと思うが、今後、その施設を活用していくことを想定しているのか。</p>

事務局	被害のあった保育園の今後の取り扱いについて、方向性は未定であるが、現在、園がある場所で土地のかさ上げをして新たな園舎を建てることや他の土地に移設することなどについて事業者と検討を進めているところである。
会長	今回は、台風が土曜日に直撃したこともあり園にはほとんど子どもがいなかったが、これが平日であれば多くの子どもが登園しており、パニックになっている中で職員が多くの小さな子供を連れて避難するのはとても大変である。予測可能な災害であれば計画的に休園にできる仕組みなど市としての基準を検討し、子どもだけでなく職員の命もしっかりと守れるよう避難計画の再考をお願いしたい。
事務局	これまでもハザードマップの対象地域である園については、災害への対処方法をマニュアル化して対応できるよう説明会を開催してきたところである。今後は、地域ごとに細かく出ている警報等にも注意を払いながら、より早い対応ができる方策等についても、検討していく。
会長	他に質問・意見等はないか。 (質問・意見なし)
事務局	第4回の子ども・子育て会議について、日時等の詳細は、後日、改めて通知する。 4 閉会
事務局	以上で、第3回宇都宮市子ども・子育て会議を閉会する。